8289662000
(496031)

FOSTEX

Model PD606 取扱説明書

＜バージョン 1.30 対応 追補版＞

バージョン1.30のPD606はUSBメモリー対応となり、[USB (HOST)] ポートが使用可能になりました。これにより、FAT16/FAT32のUSBメモリーを使ってオート・コピーやファイル・コピーなどが実行できます（詳細は3ページからの説明をお読みください）。

また、本機で記録するオーディオ・ファイルを格納するためのフォルダーが、記録時自動的に作成される“ BWFF ”フォルダー以外に、手動で作成可能になりました（注意：USBメモリーでは実行できません、詳細は 9 ページからの説明をお読みください）。

本書ではバージョンアップに伴う新たな機能についてのみ記載していますので、本機をご使用いただくには取扱説明書・本文と併せてお読みください。

目　次

USB メモリーを使った機能について

本機が USB メモリー対応となり、FAT16/FAT32 の USB メモリーを使って以下の操作が可能になりました。

(1)　オート・コピー／ファイル・コピーのコピー先に、USB メモリーが使用可能（☞4、5 ページ)。

(2)　USBメモリーにコピーしたオーディオ・ファイル (BWFファイル) の再生が可能 (☞6ページ)。

＜注意＞：USB メモリーへリアルタイムに記録することはできません。

(3)　本機 MENU モードの " DISK UTILITY " にある " Format " メニューで、USB メモリーのフォーマットが可能（☞ 7 ページ)。

＜注意＞：本機で行う USB メモリーのフォーマットは、既にフォーマットされている FAT16 ／ FAT32 のままずべてのデータを消去（All Erase）して、新たな Reel Number を付加します。

(4)　USB メモリーを使って、本機ソフトウェアーのバージョンアップが可能（☞ 8 ページ)。

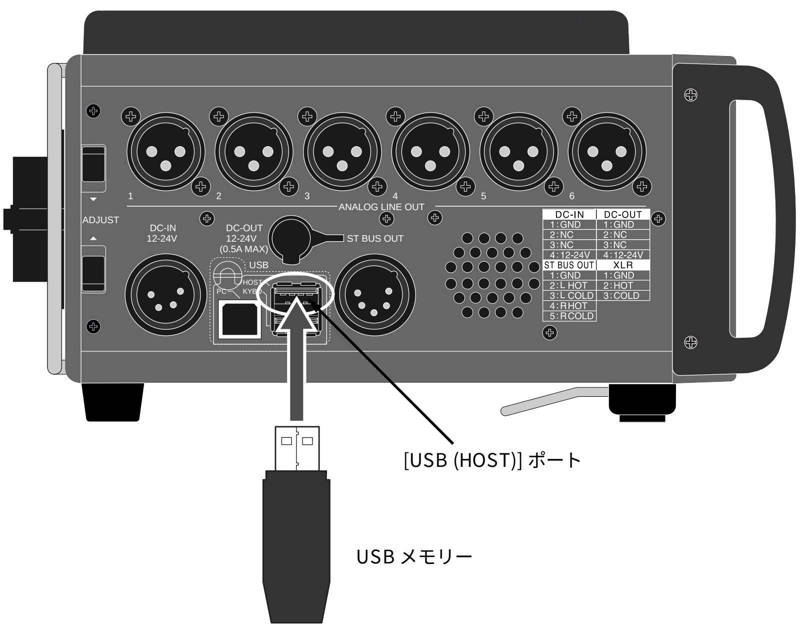
[USB (HOST)] ポートの使用について

FAT16/FAT32 の USB メモリーを、本機左サイド・パネル部にある [USB (HOST)] ポートへ接続して使用します。
USB メモリーは本機電源の ON/OFF に関わらず接続可能ですが、接続および取り外しする場合には下記事項にご注意ください。

＜接続時の注意＞：USB メモリーは、必ず上側の [USB (HOST)] ポートへ接続してください。 下側の [USB (KYBD)] ポートは USB キーボード接続用のポートです。また、 [USB (HOST)] ポートと [USB (PC)] ポートは、同時に接続しないでください。 [USB (PC)] ポートに USB ケーブルが接続されている状態では、 [USB (HOST)] ポートに接続する USB メモリーが認識されません。

＜取り外し時の注意＞：USB メモリーを [USB (HOST)] ポートから外す場合は、必ず USB メモリーのアクセスが停止していることを確認してから行ってください。メモリー内のデータ消失や、故障の原因となることがあります。

＜USBメモリーに関する注意＞：ご使用いただく USB メモリーのコントローラとの相性によっては、本機で認識できなかったり、動作が不安定になる場合があります。あらかじめ使用する USB メモリーの動作をご確認の上ご使用ください。



USB メモリーを使ったオート・コピー

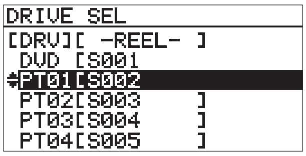
オート・コピーとは、内蔵HDDのパーティーションへ記録するとき、記録するオーディオ・データと同様のファイルをDVD-RAMディスクへ自動的にコピーする機能ですが、バージョンアップによりコピー先のドライブにUSBメモリーが使用できるようになりました。これにより、パーティーションへの記録時に加え、DVD-RAM ディスクへの記録時にもUSBメモリーを使ってオート・コピーが実行できます。下記操作は、[USB (HOST)] ポートにUSBメモリーがマウントされていることを前提にしています。
なお、DVD-RAM ディスクを使ったオート・コピーについては、取扱説明書・本文の 106 ページをお読みください。

＜ Memo ＞：USB メモリーを使ったオート・コピーでは、コピー元となるパーティーションや DVD-RAM ディスク側のファイル・ネームのリネーム、FALSE START、CIRCLE TAKE、DISK UTILITY メニューにある File info内のEdit descriptor/XLM descriptor、およびフォルダー・ネームの変更を行った場合、USB メモリー側のデータにも反映されます。

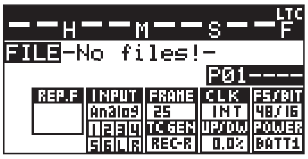
＜Memo＞：USBメモリーを使ったオート・コピーでは、パーティーション（または DVD-RAM ディスク）への記録が終了し、本機がSTOPモードになった時点でUSBメモリーへのコピーを実行します。なお、万一USBメモリーのセットを忘れていても、パーティーション（またはDVD-RAMディスク）への記録中または終了後セットすることでコピーを開始します。

＜注意＞：USB メモリーをセットする前に本機の電源を切ると、USB メモリーにはコピーされません。

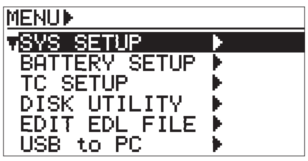
(1)　停止状態で [SHIFT] キーを押して、ShiftモードをONにした後 [FILE SEL/DRV.PAT] キーを押します。
カレント・ドライブのセレクト画面に変わります。



(2)　[MENU] ダイヤルで記録するパーティーションを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
ここでは例として、未記録のパーティーション1（PT01）を選択し、下記 Home 画面が表示されていることを前提にします。



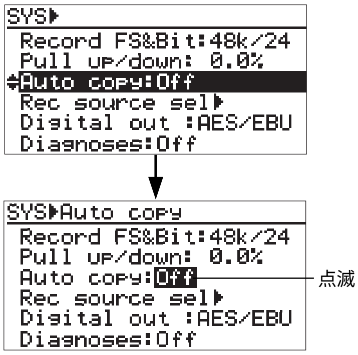
(3)　[SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [ENTER/YES] キーを押します。
MENU モードのメイン・メニューを選択する画面に変わります。



(4)　“ SYS SETUP ” メニューが反転している状態で、[ENTER/YES] キーを押します。
SYS SETUP メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。



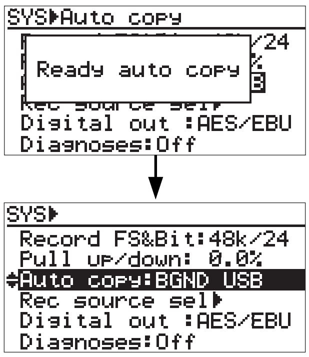
(5)　[MENU] ダイヤルで“ Auto copy ”メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
現在設定されているオート・コピー・モードが点滅する画面に変わります（初期設定では“ **Off** ”が点滅します）。



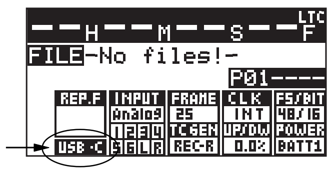
オート・コピー・モードは、初期設定の **“ Off ”** 以外に **“ IMME ” (Immediately モード)**、**“ BGND ” (Background モード)**、またはバージョンアップで追加した **“ BGND USB ” (Background USBモード)**が選択できます。

“ IMME ” と **“ BGND ”** は DVD-RAM ディスクを使うときに選択し、USB メモリーを使うときは**“ BGND USB ”**を選択します。

(6)　[MENU] ダイヤルでオート・コピー・モードに “ BGND USB ” を選択して [ENTER/YES] キーを押します。
“ **Ready auto copy** ”を一瞬表示して、“ **BGND USB** ”モードが設定されます。



(7)　[EXIT] キーを押していき、MENUモードから抜け出します。
MENU モードに入る前の Home 画面に変わり、ディスプレイのステータス表示部下に“ USB-C ”マークが点灯します。



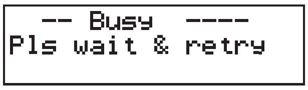
(8)　**記録するチャンネルの [READY] キーを押して、SAFE/READY を ON にした後 [REC] キーをスライドして記録を開始します。**
パーティーションのリメイン表示と、USB メモリーのリメイン表示が交互に点滅した状態で記録を開始します。

(9)　**[PAUSE] キーを押して、記録を終了します。**
パーティーションへの記録が終了すると自動的にUSBメモリーへのコピーを開始し、開始時には " **Backup copy start!** " を数秒点灯し、コピーが終了すると " **Backup copy Finished!** " が点灯して Home 画面に変わります。

＜注意＞：USBメモリーは、オート・コピー終了後USBメモリーのアクセスが完全に停止している状態で外してください。

＜注意＞：オート・コピーを必要としない場合は、" **Auto copy** " メニューを " **Off** " に設定し直してください。

＜注意＞：パーティーション（または DVD-RAM ディスク）への記録終了後USBメモリーへコピーが行われている間、あるいは USB メモリーが未セットの状態でパーティーション（またはDVD-RAMディスク）への記録終了後は、パーティーションの切り換えはできません（切り換えようとしても下記ポップアップが表示され、操作は無効となります）。



他のパーティーションなどへの切り換えは、USBメモリーへのコピーが終了した時点で可能になります。

＜Memo＞：USB メモリーへのコピー実行中またはUSBメモリーをセットする前にオート・コピーを中止したい場合は、速やかに MENU モードの " **Auto copy** " メニューを " **Off** " に設定し直してください。

USB メモリーを使ったファイル・コピー

ファイル・コピーとは、DVD-RAMディスクまたは内蔵HDDのパーティーションに記録されているオーディオ・ファイルを、DVD-RAM ディスクとパーティーション間（または異なるパーティーション間）でファイル単位でコピーする機能ですが、コピー先にUSB メモリーが使用できるようになりました。ここではUSB メモリーを使ったファイル・コピーの操作手順のみを記載していますので、その他のファイル・コピーについては取扱説明書・本文の 112 ページを参照してください。

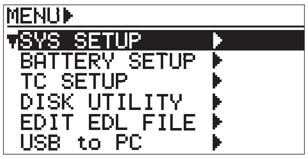
＜注意＞：USB メモリーを使ったファイル・コピーは、DVD-RAM ディスクまたは内蔵 HDD のパーティーションとの間で実行できますが、あくまでもファイル・コピーのコピー先としてのみ使用でき、コピー元に使用することはできません。つまり、USB メモリー内にあるオーディオ・ファイルを DVD-RAM ディスクや内蔵 HDD のパーティーションへコピーすることはできませんのでご注意ください。

＜注意＞：DVD-RAM ディスク（またはUSB メモリー）へのコピー時、コピー先に同じ名前のファイルが存在する場合は、コピーの対象に選択したファイルはキャンセルされてしまいます。また、同じ名前の ALE ファイルが存在する場合は、常にオーバー・ライトされ ALE ファイルは更新されます。このようなことから、下記操作手順の（5）において " <All Select> " を選択することで効率良くフォルダー以下のコピーが作成できます。

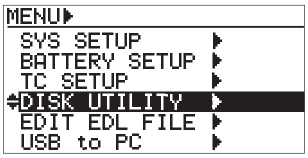
下記操作は、カレント・ドライブのパーティーション 1 に記録されているオーディオ・ファイルを、USB メモリーへファイル単位でコピーすることを前提にしています。

なお、DVD-RAM ディスク（またはパーティーション）に複数のフォルダーが作成されている状態からコピーするフォルダーを選択するには、後述 9 ページに記載されている「**任意のフォルダーを選択する**」を参照して、事前に希望のフォルダーを選択してください。

(1)　**停止状態で [SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [ENTER/YES] キーを押します。**
MENU モードのメイン・メニューを選択する画面に変わります。

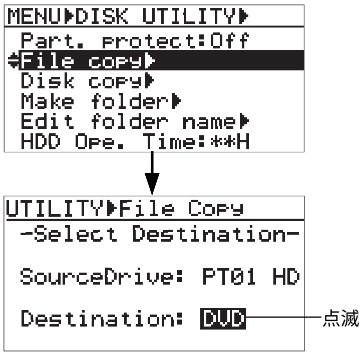


(2)　**[MENU] ダイヤルで" DISK UTILITY "メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
" **DISK UTILITY** " メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。

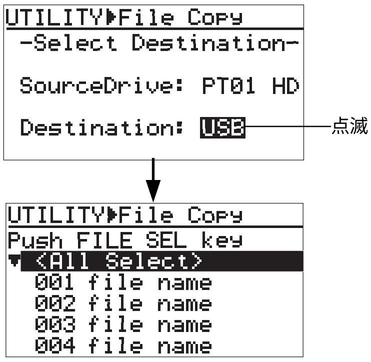




(3)　**[MENU] ダイヤルで " File copy " メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
コピー先のドライブ（またはパーティーション）を選択する画面に変わります。

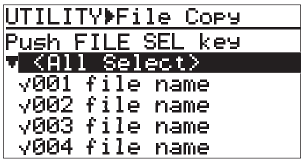


(4)　**[MENU] ダイヤルでコピー先のドライブに " USB " を選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
コピーするオーディオ・ファイルの選択画面に変わります。

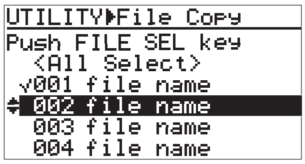


(5) **コピーするファイルを選択します。**

● 全ファイルを選択する場合：
“ **<All Select>** ” が反転している状態で［FILE SEL/DRV.PAT］キーを押すと、全ファイル・リストの先頭に「チェック・マーク」が付加されます。

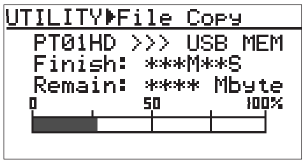


● 個々のファイルを選択する場合：
［MENU］ダイヤルで任意のファイルを選択して［FILE SEL/DRV.PAT］キーを押すと、選択したファイル・リストのみに「チェック・マーク」が付加されます。



＜Memo＞：チェック・マークを解除するには、[MENU] ダイヤルでファイル・リストを選択して再度 [FILE SEL/DRV.PAT] キーを押してください。

(6) **ファイルの選択後、[ENTER/YES] キーを押します。**
パーティーション1からUSBメモリーへのファイル・コピーを開始し、終了すると “ **Completed!** ”が点灯します。



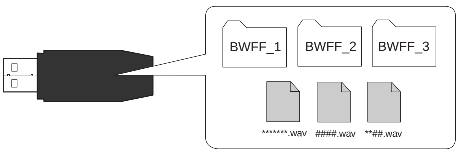
＜Memo＞：コピー先のUSBメモリーには、コピー元で選択したフォルダーと同名のフォルダーが作成され、そのフォルダーに選択したオーディオ・ファイルがコピーされます。また、ALEファイルは“ **Info** ”フォルダーにコピーされます。

(7) **[EXIT] キーを押して MENU モードから抜け出します。**

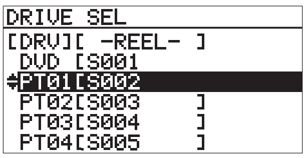
USB メモリーにコピーしたオーディオ・ファイルの再生

前述の「**ファイル・コピー**」や「**オート・コピー**」で、USB メモリーへコピーしたオーディオ・ファイル（BWF ファイル）を再生して確認することができます。下記操作手順は、現在内蔵 HDD のパーティーション1（PT01）に記録されているオーディオ・ファイルが立ち上がり、「ファイル・コピー」や「オート・コピー」でコピーした USB メモリーが [USB (HOST)] ポートにマウントされていることを前提にしています。

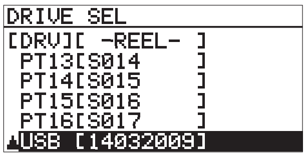
＜注意＞：PC側にあるオーディオ・ファイル（BWF）をUSBメモリーへコピーして本機で再生するには、再生するファイルが格納されているフォルダーごとコピーするか、ファイル単体をUSBメモリー内にある既存のフォルダーへコピーしてください。万一下図のようにオーディオ・ファイルのみをUSBメモリーにコピーした場合は、本機で認識できず再生することができません。



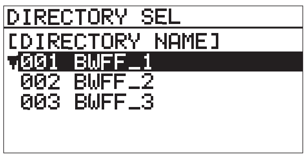
(1) **停止状態で [SHIFT] キーを押して、ShiftモードをONにした後 [FILE SEL/DRV.PAT] キーを押します。**
カレント・ドライブのセレクト画面に変わります。



(2) **[MENU] ダイヤルを右（時計方向）へ回していき、“ USB ” をカレント・ドライブに選択します。**
マウントされたUSBメモリーは、ドライブ・セレクト画面の一番最後尾に表示されます。

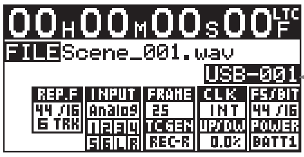


(3) **[ENTER/YES] キーを押します。**
カレント・ドライブにUSBメモリーがセレクトされ、USBメモリー内のフォルダー選択画面に変わります。



＜注意＞：USBメモリー内に“ **BWFF (bwff)** ”というネームのフォルダーしかない場合は、前述の「ディレクトリーのセレクト画面」を表示することなく、“ **BWFF (bwff)** ”フォルダー内に一番最初に格納されたオーディオ・ファイル（BWF）のHome画面で立ち上がります。

(4) **[MENU] ダイヤルで希望のフォルダーを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
フォルダー内の一番最初にエントリーされているオーディオ・ファイルが立ち上がり、再生が可能になります。



ドライブ・ネーム（USB）とファイル・ナンバーを表示します。

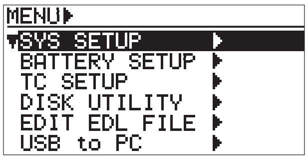
＜Memo＞：選択したフォルダー内に格納されている任意のオーディオ・ファイルを選択するには、[|◀◀] / [▶▶|] キーを押して選択するか、[FILE SEL/DRV.PAT] キーを押した後ファイル・セレクト・モードを使って選択します（ファイル・セレクトの詳細については、取扱説明書・本文の 98 ページを参照してください）。

USB メモリーのフォーマット

MENU モードの " DISK UTILITY " メニューにある " Format " メニューで、USB メモリーのフォーマットが可能になりました。USB メモリーのフォーマットは、既にフォーマットされている FAT16/FAT32 のまま、USB メモリー内にある全データを消去（All Erase）して新たな Reel Number を付加します。ここでは USB メモリーのフォーマット手順を記載していますが、DVD-RAM ディスクおよび内蔵 HDD をフォーマットするには、取扱説明書・本文の 204 ページを参照してください。なお、下記操作は内蔵 HDD のパーティーション 1 がカレント・ドライブにセレクトされ、本機の [USB (HOST)] ポートにフォーマットすべき USB メモリーがマウントされていることを前提にしています。

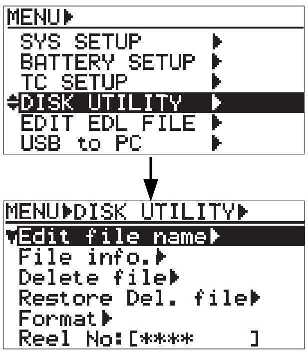
(1)　停止状態で [SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [ENTER/YES] キーを押します。

MENU モードのメイン・メニューを選択する画面に変わります。



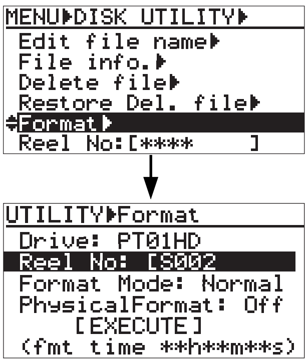
(2)　[MENU] ダイヤルで " DISK UTILITY " メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。

" **DISK UTILITY** " メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。



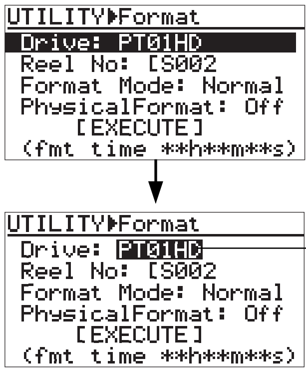
(3)　[MENU] ダイヤルで " Format " メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。

フォーマットに必要な設定画面に変わります。



(4)　[MENU] ダイヤルで " Drive: PT01HD " を選択して、[ENTER/YES] キーを押します。

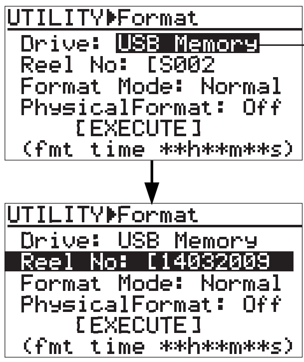
現在の設定が点滅し、ドライブの選択が可能になります。



点滅

(5)　[MENU] ダイヤルで " USB Memory " を選択して、[ENTER/YES] キーを押します。

USB メモリーの Reel Number が反転する画面に変わります。初期設定の Reel Number は、USB メモリーをセットした年月日を 8 桁の数字で表示します。

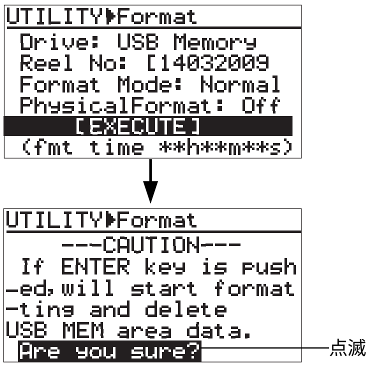


点滅

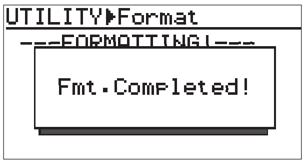
ここでは、現在表示されている Reel Number のままつぎの操作へ進みます。任意に Reel Number を編集するには、取扱説明書・本文の 205 ページを参照してください。

＜Memo＞：USB メモリーのフォーマットでは、" **Format Mode** "（" Normal "）と " **Physical Format** "（" Off "）は現在表示されているモードで固定され、任意に選択することはできません。

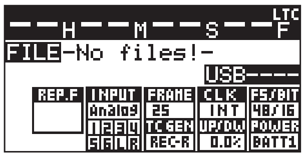
(6)　**[MENU] ダイヤルで“ [EXECUTE] ”を選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
警告画面に変わり、“ **Are you sure?** ”が点滅します。



(7)　**[ENTER/YES] キーを押します。**
フォーマットが実行され、終了すると“ **Fmt.Completed!** ”が点灯します。



(8)　**[EXIT] キーを押して MENU モードから抜け出します。**
カレント・ドライブがUSBメモリーに切り替わり、下記“ **--No files!--** ”が点灯する Home 画面に変わります。



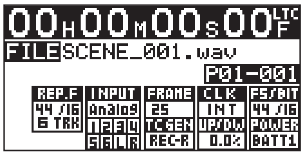
＜ Memo ＞：カレント・ドライブに内蔵 HDD のパーティーションが立ち上がっている状態で USB メモリーをフォーマットすると、フォーマット後はUSBドライブで立ち上がります。

＜注意＞：フォーマットした USB メモリーには、リアルタイムに記録することはできません。
本機で新たな記録を行うには、カレント・ドライブを切り換えてご使用ください。

USB メモリーを使ったバージョンアップ

DVD-RAM ディスク／ CD-ROM と同じ要領で、USB メモリーを使ってソフトウェアーのバージョンアップが実行できます。
バージョンアップを実行するためには、事前に当社ホーム・ページ（**http://www.fostex.jp**）からバージョンアップ用のファイル（“ **PD606V***.MOT** ”）をダウンロードして、PC 側で USB メモリーにファイルをコピーしてください。

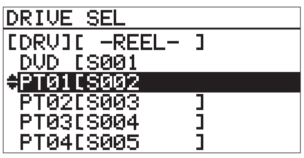
下記操作は、現在カレント・ドライブに内蔵 HDD のパーティーション 1 がセレクトされ、下記例のような Home 画面が立ち上がっていることを前提にしています。



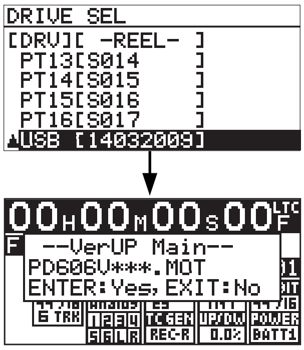
(1)　**[USB (HOST)] ポートに、バージョンアップ用のファイルがコピーされた USB メモリーをセットします。**
下記ポップアップ画面が一瞬点灯して、USBメモリーがマウントされたことを示します。



(2)　**停止状態で [SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [FILE SEL/DRV.PAT] キーを押します。**
カレント・ドライの選択画面に変わります。



(3)　**[MENU] ダイヤルで“ USB ”をカレント・ドライブに選択して、[ENTER/YES] キーを押します。**
USBメモリー内のバージョンアップ用ファイルを読み込み、つぎの画面に変わります。



バージョンアップしない場合は、上記画面の状態で [EXIT] キーを押してください。

(4)　**[ENTER/YES] キーを押します。**
バージョンアップが開始され、実行中を示すポップアップ画面が順に点滅して表示されます。
終了するまでしばらくお待ちください。
バージョンアップが終了と同時に、USB メモリーの Home 画面に変わります。

<Memo>：USB メモリー内にバージョンアップ用のファイルしかない場合、バージョンアップ終了後の Home 画面には“ **-No files!-** ”が表示されます。

(5)　**PD606 本体の電源を入れ直します。**

記録用フォルダーの作成

未記録の DVD-RAM ディスク（または内蔵 HDD のパーティーション）に初めて記録すると自動的に“ **BWFF** ”フォルダーが作成され、記録したオーディオ・ファイルはその“ **BWFF** ”フォルダー内に格納されていましたが、バージョンアップにより記録したオーディオ・ファイルを格納するフォルダーを PD606 本体で任意に作成することが可能になりました。
また、作成するフォルダーにはオリジナルのフォルダー・ネームも付けられ、フォルダー作成後でも編集が可能です。

フォルダーの作成およびフォルダー・ネームの編集は、MENU モードの“ **DISK UTILITY** ”メニューに追加した“ **Make folder** ”メニューおよび“ **Edit folder name** ”メニューで実行できます（下記操作方法を参照してください）。

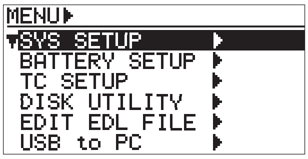
新規にフォルダーを作成する

下記操作は、内蔵HDDのパーティーション1がカレント・ドライブにセレクトされ、パーティーション内の“ BWFF ”フォルダーに格納されているオーディオ・ファイルが立ち上がっていることを前提にしています。

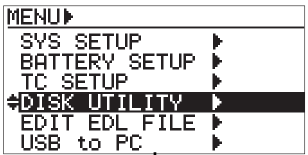
<Memo>：フォルダーは、自動的に作成される BWFF フォルダーを含め最大32個まで作成可能です。これにより、記録可能なオーディオ・ファイル（BWF）は、250 ×フォルダー数に拡張されました。

＜注意＞：USB メモリーには本機でフォルダーを作成できません。作成できるのは、カレント・ドライブにセレクトされた DVD-RAM ディスクまたは内蔵 HDD のパーティーションです。

(1)　停止状態で [SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [ENTER/YES] キーを押します。
MENU モードのメイン・メニューを選択する画面に変わります。

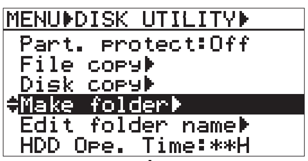


(2)　[MENU] ダイヤルで“ DISK UTILITY ”メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
“ **DISK UTILITY** ”メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。





(3)　[MENU] ダイヤルで新たに追加した“ Make folder ”メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
新たに作成するフォルダーのフォルダー・ネームを入力する画面に変わります。





点滅

(4)　下記操作例を参照して、フォルダー・ネームを入力します。
最大 16 文字まで入力が可能です。

カーソルを左右に移動する
[I◀◀] キー／ [▶▶I] キーを押します。
文字／記号などを入力する
カーソル位置で [MENU] ダイヤルを操作するか、10 キーを押します。
カーソル位置の文字を消去する
[CLEAR] キーを押します。

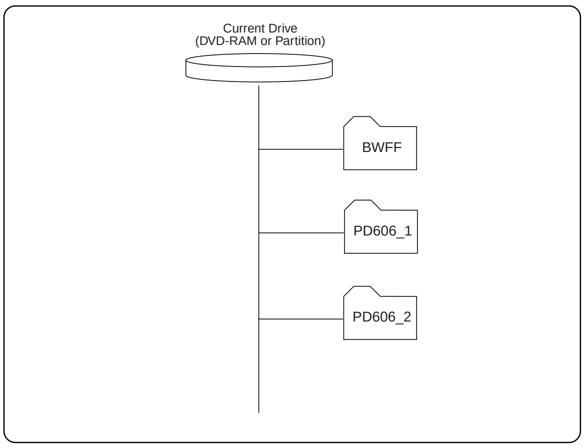
<Memo>：フォルダー・ネームを任意に編集せず、初期設定のまま作成することも可能です。フォルダー作成後にネームを編集するには、次項の「フォルダー・ネームの編集」を参照してください。

(5)　入力終了後 [ENTER/YES] キーを押します。
入力したフォルダー・ネームが確定し、MENU モードに入る前の Home 画面に変わります。

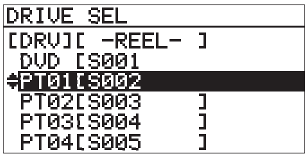
任意のフォルダーを選択する

カレント・ドライブ（DVD-RAM または内蔵 HDD のパーティーション）に作成した複数のフォルダーから、記録／再生するフォルダーを選択します。

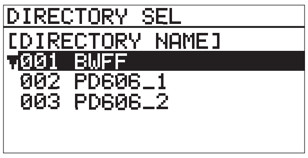
ここからの操作は、内蔵 HDD のパーティーション 1 に“ BWFF ”フォルダー以外に、“ **PD606_1** ”フォルダーと“ **PD606_2** ”フォルダー（いずれも仮名）が作成されていることを前提にしています。



(1)　[SHIFT] キーを押して Shift モードを ON にした後、[FILE SEL/DRV.PAT] キーを押します。
カレント・ドライブの選択画面に変わります。



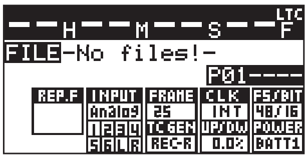
(2)　[MENU] ダイヤルで " PT01 [S002] " を選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
パーティーション 1（PT01）内に作成されている、フォルダーの選択画面に変わります。



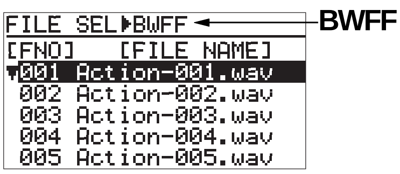
<Memo>：上記フォルダーの選択画面例では、" **001 BWFF** "が初めて記録したとき作成されたBWFFフォルダーで、" **002 PD606_1** " と " **003 PD606_2** " が新規に作成したフォルダーを示しています。

(3)　[MENU] ダイヤルで希望のフォルダーを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
選択したフォルダーに一番最初に格納されたオーディオ・ファイルの Home 画面に変わります。

＜注意＞：選択したフォルダー内にオーディオ・ファイルが存在しない場合は、下記例のように" **No files!** " を表示します。



<Memo>：現在どのフォルダーが選択されているか確認するには、ファイルのHome画面を表示している状態で **[FILE SEL/DRV.PAT]** キーを押してください。
ファイル・セレクト画面 " FILE SEL> " の右（下記矢印部分）に現在セレクトされているフォルダー名を表示します。下記例は、現在 BWFF フォルダーがセレクトされていることを示しています。

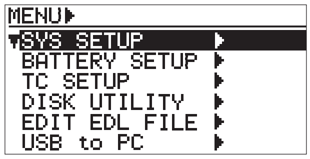


フォルダー・ネームを編集する

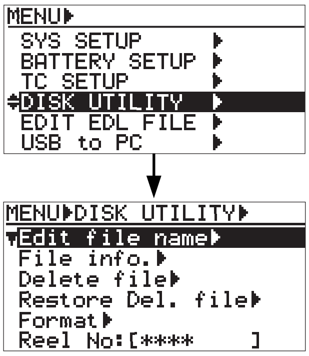
既存のフォルダー・ネームを編集して、再登録します。

＜注意＞：フォルダー・ネームの編集は、カレント・ドライブ内であらかじめ選択されたフォルダーのみ可能です。
事前に編集するカレント･ドライブとフォルダーを選択してから下記操作を行ってください。

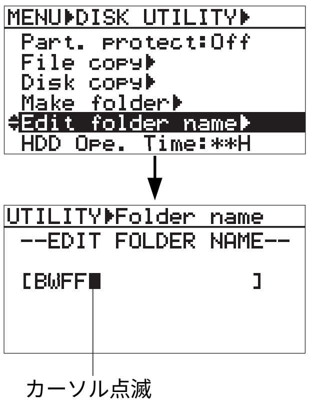
(1)　停止状態で [SHIFT] キーを押して、Shift モードを ON にした後 [ENTER/YES] キーを押します。
MENU モードのメイン・メニューを選択する画面に変わります。



(2)　[MENU] ダイヤルで" DISK UTILITY "メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
" **DISK UTILITY** " メニューのサブ・メニューを選択する画面に変わります。



(3)　[MENU] ダイヤルで新たに追加した " Edit folder name " メニューを選択して、[ENTER/YES] キーを押します。
カレント・フォルダーのフォルダー・ネームを入力する画面に変わります。



(4)　任意のフォルダー・ネームに編集します。
前述 9 ページ記載の入力方法を参照してください。

(5)　ネーム入力終了後、[ENTER/YES] キーを押します。
入力したフォルダー・ネームが確定し、MENU モードに入る前の Home 画面に変わります。

FOSTEX フォステクス　カンパニー
国内営業グループ
〒196-0021　東京都昭島市武蔵野 3-2-35
☎ 042-546-6355　　FAX. 042-546-6067

© PRINTED IN JAPAN MAR. 2009 8289662000 FX
(496031)